

リルテック錠 50

【この薬は？】

販売名：リルテック錠 50 (Rilutek Tablets 50)

一般名：リルゾール (Riluzole)

含有量：1錠中リルゾール 50mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、筋萎縮性側索硬化症用剤と呼ばれる薬です。
- ・この薬は、神経細胞を保護して、筋力の低下や食べ物が飲み込みにくくなるなどの病気の進行を抑える薬です。症状を改善させたり、軽減したりする働きはありません。
- ・次の目的で処方されます。

筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の治療

筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の病勢進展の抑制

- ・この薬は、増量しても効果の増強は期待できず、また副作用の頻度および程度が増大するおそれがあるので、指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・肝臓に重篤な障害のある人
- ・過去にリルテック錠やリルテック錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使用する前にそのことを医師または薬剤師に教えてください。
 - ・過去に肝臓に障害のあった人または肝臓に障害のある人
 - ・発熱があり、感染症にかかっている疑いのある人
 - ・腎臓の働きが低下している人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

この薬は、通常、成人には本剤を1日2回1回1錠、朝および夕食前に服用します。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯といっしょに飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の通常飲む時間が近い場合は1回とばして、次の通常の服用時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

誤って多く飲んだ場合、昏迷(刺激を与えられた時だけ反応する)、昏睡(意識がなくなる)などの症状があらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれたら、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は、使用前、使用中に定期的な血液検査が行われます。
- ・この薬により、喉の痛みや発熱など、感染症にかかりやすくなる場合があります。
- ・この薬により貧血があらわれる可能性があります。
- ・服用量を増やしても効果が強くなることは期待できません。副作用が増大するおそれもありますので、決められた用量を守ってください。
- ・眠くなったり、めまいが起こることがあるので、車の運転や危険を伴う機械の操作などは避けてください。
- ・妊娠または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？


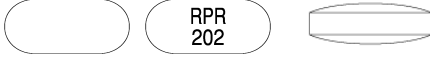
特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシー 様症状 アナフィラキシーようしょうじょう	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、じんましん、判断力の低下、動悸（どうき）、息切れ、息苦しい、からだがだるい、考えがまとまらない、ほてり、意識の低下、ふらつき
好中球減少 こうちゅうきゅうげんしょう	発熱、のどの痛み
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	頭痛、息苦しい、発熱、から咳
肝機能障害 かんきのうしょうがい	皮膚が黄色くなる、嘔吐（おうと）、白目が黄色くなる、尿の色が濃くなる、吐き気、食欲不振、かゆみ、からだだるい
黄疸 おうだん	皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる、白目が黄色くなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだだるい、ふらつき、発熱
頭部	考えがまとまらない、意識の低下、頭痛
顔面	ほてり
眼	眼と口唇のまわりのはれ、白目が黄色くなる
口や喉	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、のどの痛み、から咳、嘔吐（おうと）、吐き気
胸部	動悸（どうき）、息切れ、息苦しい、吐き気
腹部	食欲不振、吐き気
皮膚	じんましん、皮膚が黄色くなる、かゆみ
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる
その他	判断力の低下

【この薬の形は？】

PTPシート	
形状	長円形の錠剤 
直径	10.1mm
厚さ	3.2mm
重さ	0.20g
色	白色
識別コード	RPR202

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	リルゾール
添加物	無水リン酸水素カルシウム、結晶セルロース、クロスカルメロースナトリウム、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール、酸化チタン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：サノフィ株式会社

(<http://www.sanofi.co.jp>)

コールセンター くすり相談室

フリーダイヤル 0120-109-905

受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）